

**製品名: NOS1 マウスモノクローナル抗体****カタログ番号: AMM81543**

研究使用のみ

**概要**

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	ICC,ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	ICC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	161kDa

**抗原情報**

遺伝子名	NOS1
別名	NOS; bNOS; nNOS; IHPS1; N-NOS; NC-NOS
遺伝子 ID	4842.0
SwissProt ID	P29475
免疫原	大腸菌で発現したヒト NOS1 (AA: 17-153) の精製された組み換え断片。

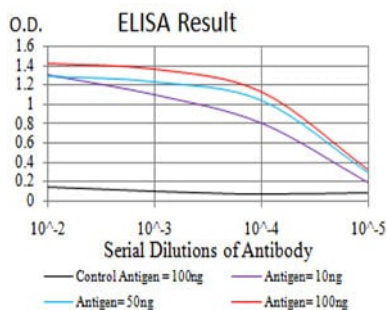
**背景**

この遺伝子によってコードされるタンパク質は、L-アルギニンから一酸化窒素を合成する一酸化窒素合成酵素ファミリーに属します。一酸化窒素は反応性フリーラジカルであり、神経伝達、抗菌作用、抗腫瘍作用など、様々なプロセスにおいて生物学的メディ

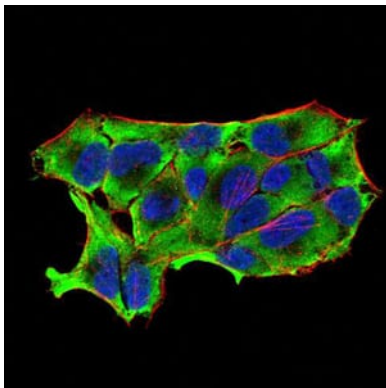
エーターとして作用します。脳および末梢神経系において、一酸化窒素は神経伝達物質として多くの特性を示し、脳卒中や神経変性疾患に伴う神経毒性、蠕動運動を含む平滑筋の神経調節、そして陰茎勃起に関与していることが示唆されています。このタンパク質は普遍的に発現しており、特に骨格筋で高い発現レベルを示します。この遺伝子には、5' UTRが異なる複数の転写バリエントが報告されていますが、これらの転写産物の全長は不明です。さらに、この遺伝子には、異なるアイソフォーム（一部は精巣特異的）をコードする選択的スプライシングを受けた転写バリエントが見つっています。

## 研究分野

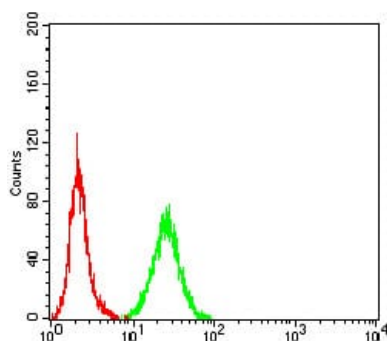
## 画像データ



黒線: コントロール抗原 (100 ng); 紫線: 抗原 (10 ng); 青線: 抗原 (50 ng); 赤線: 抗原 (100 ng);



NOS1 マウス mAb (緑) を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



NOS1 マウス mAb (緑) とネガティブコントロール (赤) を使用した HeLa 細胞のフローサイトメトリー分析。